

自閉症・情緒障害特別支援学級 自立活動学習指導案

1 題材名 しっかり聞こう しっかり見よう (集中トレーニング・視知覚トレーニング)

2 題材について

Aは入学と同時に本学級に在籍し、現在は週7時間学習している。一斉の指示は通りにくく、一つのことに集中したり周りのペースに合わせて行動したりすることが苦手で、行動のコントロールが難しい面がある。視覚的に物をとらえることが苦手で手先も不器用である。指示に従うことや単純な作業を続けることが苦手なため、繰り返しの学習に集中して取り組むことが難しくなっている。また、整理整頓が苦手で、忘れ物や物の紛失、置き忘れなどがみられるため、注意や叱責を受ける機会が多くなっている。そのため、自分に自信を持ってなくなったり気持ちが不安定になり登校を渋ることもある。

本題材では、Aの生活上の困りを軽減するために、集中トレーニングと眼球運動トレーニングを継続して行い、落ち着いて生活することや学習に取り組めるようになることをねらいとした。Aの苦手な図と地の認知や全体的な空間の把握などの困難さを軽減し、自分に自信を持ち自己肯定感を高めたいと考えた。

指導にあたっては、ウォーミングアップとして集中トレーニングを行い、落ち着いて学習に取り組める環境の工夫と情緒の安定を図ることを考えた。また、眼球運動トレーニングを段階的に難易度を変えて行ったり、ゲーム感覚で行ったりして継続するようにした。視覚的な課題を処理することが苦手なAに、言葉のヒントがあれば課題を解決できることに気付かせ、学習に意欲を持って取り組めるようにしたい。ごほうび課題には、PC課題が好きなAにPCソフト「しっかり見よう」(視知覚トレーニングソフト)を活用し興味関心の継続を図れるようにしたい。

3 児童の実態と個別目標

実 態	目 標
<ul style="list-style-type: none"> 視線が合わず、注意・集中が難しく、指示を聞き逃しやすい。 全体をまんべんなく見ることが苦手で、細かい部分に注意を向けることが難しい。 過去の失敗や注意から、自信をなくし情緒不安定になることがある。 言葉の理解や操作は得意であるが、ものを覚えたり見て操作したりすることは苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示や説明を注意をそらさずに最後まで聞くことができる。【6-(2)】 全体の中から指示されたものを場面や順番を考え見つけることができる。【5-(5)】 最後まで課題に取り組むことができる。【2-(3)】 言葉の説明をマッチングさせて地図を見ながらゴールにたどり着くことができる。【5-(5)】

4 指導計画と評価 (14時間扱い)

月	時	学習内容・活動	評 価
9	2	<ul style="list-style-type: none"> 集中トレーニング 点結び・絵の間違い探し 	<ul style="list-style-type: none"> リラックス寝型姿勢ができる。 点結びや間違いさがしが最後までできる。
10	4	<ul style="list-style-type: none"> 集中トレーニング 点結び・パズル・間違い探し PC「しっかり見よう」 	<ul style="list-style-type: none"> 寝型姿勢・着席姿勢ができる。 質問に対する確かな答えを返すことができる。 点結びやパズルが最後までできる。
11	4	<ul style="list-style-type: none"> 集中トレーニング 眼球運動トレーニング 視覚認知スキルトレーニングをする。 PC「しっかり見よう」 	<ul style="list-style-type: none"> 着席姿勢で、説明を聞くことができる。 ビー玉やひも付きお手玉の追視ができる。 全体の中から指示されたものを見つけることができる。 「しっかり見よう」に取り組むことができる。
12	4 4/4 (本)	<ul style="list-style-type: none"> 集中トレーニング 視覚認知スキルトレーニングをする。 PC「しっかり見よう」・ 	<ul style="list-style-type: none"> 着席姿勢で、指示や説明を注視して聞くことができる。 全体の中から指示されたものを見つけたり、絵と言葉を結びつけて地図を読んだりすることができる。 「しっかり見よう」に目標を持って意欲的に取り組むことができる。

5 本時の学習

(1) 個別目標

○絵や言葉の混ざった地図から必要な情報を読み取る活動に、最後まで取り組むことができる。

【2－(3)】

○眼球運動トレーニングにおいて、全体の中から指示された文字や単語を見つけることができる。

【5－(5)】

(2) 準備・資料

チラシ、指示リスト、宝島の地図、ストップウォッチ、ホワイトボード

(3) 展開

学習活動・内容	教師の指導・支援と評価 (□は評価)
1 本時の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">よく見て宝物をさがそう。</div>	○課題を提示し、「宝物をさがす」ことから課題に関心を持たせ、そのために、地図を読み取る学習をすることをしっかりおさえる。
2 本時の学習内容と順序を知る。	○ボードに学習内容と順序を書き、見通しを持てるようにする。
3 集中トレーニングをする。 (1) リラックス寝型姿勢 (2) 連続姿勢 (3) 注視姿勢 (4) 落書き (5) 目と手の連携動作	○学習のための着席姿勢を覚えるために、緊張とリラックスの違いを理解できているか観察する。 ○1分の寝型姿勢から静かに着席させ、筆箱を用意させる。静かに待つことができれば合格とする。 ○手と目を使うトレーニングの始めに1分間の落書きをさせ3つの注意を守ることを確認する。 □集中トレーニングに進んで取り組むことができたか。(行動)
4 視覚認知スキルトレーニングをする。 (1) 物探しをする。 (2) 指示カードを見て物探しをする。	○たくさんの商品が写っているチラシから、指示されたものを探しながら、全体をまんべんなく見られるようにする。 ○見つけにくい時は、部分を限定したり順番を指示したりして分かりやすくする。 □指示されたものが見つけられたか。(ワークシート・行動)
5 宝島の地図を読む。 (1) 絵で表示してあるものを確認する。 (2) 言葉で表示してあるものを確認する。 (3) 問題文を読みながら宝物を探す。	○最初にスタートとゴールを確認し、大体的見当をつけさせる。 ○絵と言葉を別々に確認してからマッチングさせ、大事な部分とそうでない部分を区別しやすくする。 ○問題文の「左右」、「まっすぐ」、「手前」などの手がかりになる言葉に注目させて、地図を見るように助言する。 □大事な手がかりを見つけてゴールまで行くことができたか。(ワークシート)
6 ごほうびタイムをする。 (1) PC「しっかり見よう」をする。 ・星を追いかけてよう ・違うカードはどれ ・矢印をたどろう	○前回までのスコアを確認し、意欲を持って取り組めるよう励ます。 ○1つの課題が終わったら、窓の外の景色(空や緑)を見て目を休ませる。 ○スコアを記録し、次回への意欲を持たせる。
7 本時の学習を振り返る。	○本時の学習で頑張れたことを発表させ、具体的にできたことをほめ自信を持たせる。